

美術科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂 中学美術 7 2 6 8 2 6
取 扱 内 容	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 身の回りにあるものや自然物をよく観察して描くことや、動物の形を立体表現する活動を通して、豊かに発想し構想する能力や色や形の表現方法を身に付け、表現意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ 自分の内面を見つめ、自分らしさを自画像で表現したり、人の形やそれを取り巻く空間を立体表現したりして、独創的・総合的な見方や考え方を培い、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 生活を楽しむデザインを考えたり、自然素材の特徴を生かした工芸品をつくったりする活動を通して、意図に応じて創意工夫し表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ ポスター作成では、形や色彩、文字など総合的に構成したり、光と明かりや映像で演出したりして創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分の作品の見せ方や飾り方について話し合う活動を通して、美術作品の基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>第 2・3 学年～ 日本の美術の影響を受けた西洋の美術を知ることで、美術作品についての理解を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう。</p>
内容の 排列、 分量等 の 構成	<p>○ 内容の構成・排列については、生活に生きる工芸品を制作する題材において、木材と焼き物などの材料や方法を選ぶなど、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫がなされている（第 1 学年）。</p> <p>○ 内容の分量については、「絵や彫刻など」は 36 ページ、「デザインや工芸など」は 36 ページ、「鑑賞」は 25 ページ、資料が 11 ページであり、総ページ数は 108 ページで、前回より約 15% 増となっている（第 2・3 学年）。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、「美術はいつも生活や暮らしの中に」として、美術で身に付けた力を生かして社会で働く人たちを紹介している（第 2・3 学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の分野・内容に応じて色分けし、題材の冒頭や各ページにマークで示している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいように、判読しやすい配色やレイアウトにするなど工夫されている。
その他	

美術科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 中学美術 727 827
取 扱 内 容	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 身近な人物や自然物の形や色のおもしろさを生かして表現することを通して、豊かに発想し構想する能力や色や形の表現方法を身に付け表現意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ 見る角度や距離を変えて観察し絵に表現したり、想像した動物の動きを立体に表現する活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 情報を伝える絵文字や、生活に役立つ器や焼き物をつくる活動を通して、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ 情報やイメージをキャラクター化したり、季節感のある工芸品のデザインを工夫したりして、表現方法を工夫し創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 日本の美術作品について話し合う活動を通して、自然の造形や美術作品について基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高めよさや美しさを味わう。</p> <p>第 2・3 学年～ 東洋と西洋の空間表現の違いや、その特徴を話し合う活動を通して美術作品などについての理解や見方を広げ、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさを味わう。</p>
内容の 排列、 分量等 の 構成	<p>○ 内容の構成・排列については、気持ちを伝えるデザインの題材において、伝えたい相手に応じて箱やカードで表すなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫がなされている（第1学年）。</p> <p>○ 内容の分量については、「絵や彫刻など」は32ページ、「デザインや工芸など」は24ページ、「鑑賞」は25ページ、資料が25ページであり、総ページ数は106ページで、前回より約6%増となっている（第2・3学年）。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、著名な作家の制作過程におけるノートやスケッチを紹介している（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学習を支える資料」ごとに色で示している。（全学年）。 ・ 全ての生徒が学習しやすいように、判読しやすい文字や配色にするなど工夫されている。
その他	

美術科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 7 2 8 8 2 8 8 2 9 中学美術
取 扱 内 容	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 身近なものの特徴を生かしたスケッチや、身近な材料を組み合わせた立体表現を通して、豊かに発想し構想する能力や色や形の表現方法を身に付け、表現意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ 自然の光による瞬間の美しさを絵で表したり、人の躍動感や緊張感を立体表現したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 言葉のイメージを考えたデザインや、木材の特徴を生かしたもののづくりを通して、意図に応じて創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>第 2・3 学年～ ピントグラムづくりや、使う人や場所の雰囲気を考えたインテリアや小物づくりを通して表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 作品のよさや美しさについて話し合う活動を通して、自然の造形や美術作品について基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを味わう。</p> <p>第 2・3 学年～ 漫画表現の造形的なよさについて話し合う活動を通して、美術作品などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさを味わう。</p>
内容の 排列、 分量等 構成	<p>○ 内容の構成・排列については、思い出の景色や場面を表す題材において、表現の意図に応じて、絵や立体を選択するなど、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫がなされている（第 1 学年）。</p> <p>○ 内容の分量については、「絵や彫刻など」は 26 ページ、「デザインや工芸など」は 24 ページ、「鑑賞」は 30 ページ、資料が 36 ページであり、総ページ数は 116 ページで、前回より約 21% 増となっている（第 2・3 学年）。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの意味を考える題材で発想や手法の参考として、社会で活躍しているデザイナーのインタビューを紹介している。（第 1 学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「資料」ごとに色で示している。（全学年） ・全ての生徒が学習しやすいように、判読しやすい文字の大きさやレイアウトにするなど工夫されている。
その他	